



## 全国学力・学習状況調査の結果について①

5月27日、2年ぶりに全国の中学校3年生全員を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。本年度の内容は「国語・数学」の2教科と「質問紙(アンケート)」です。本校の結果及びこれからの取組について保護者・地域の皆様に報告いたします。

	国語	数学
有田市	64	60
和歌山県	61	55
全 国	64.4	57.2

### 【国語】

本校の平均正答率は、全国平均正答率とほぼ同じです。

問題別の正答率では、 全国平均より3%以上高い問題……6問

同程度の問題……2問

3%以上低い問題……5問 でした。

国語の「書くこと」は、全国平均より2.8ポイント高く、1年生から100字～200字作文に取り組んできた成果が出ていると思われます。反面、「読むこと」「話すこと・聞くこと」については、全国平均より低くなっています。

これらの分析より、物語文での登場人物の心情や行動に注意して読み取る力や、話し合い活動等を通して相手にわかりやすく伝える方法を思考させること、文学教材や古文を用いたりICT機器を活用して語彙力を高めることに取り組んでいます。

### 【数学】

本校の平均正答率は、全国平均正答率より3ポイント程度高くなっています。

問題別の正答率では、 全国平均より3%以上高い問題……10問

同程度の問題……2問

3%以上低い問題……4問 でした。

数学は平均正答率は高いものの、基本的な内容の理解及び定着が不十分であること、さらに数学的な根拠に基づいた説明等の記述が苦手であることが分かりました。

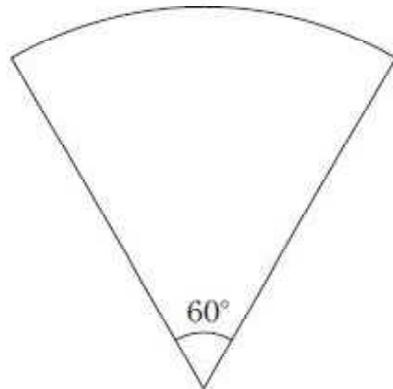
基本的な内容の定着や数学的に説明する力の育成するために、数学的活動の充実を図ります。具体的には、数や図形の性質などを見いだすことや、学んだ数学を利用すること、またその過程で数学的な表現を用いて説明し伝え合うことに目的意識を持って主体的に取り組めるような工夫を図ります。

ところで、全国学力調査の問題は公開されているのですが、ご覧になったことがありますか？インターネットで検索すると見つかります。この問題は、普段のテストと少し傾向が違います。たとえば、国語でグラフや表を読み取る問題があったり、数学で『「～は……である。」という形で書きなさい』というような問題があったりします。「読み書き計算」といった基礎・基本に加えて、活用する力が問われます。また、問題の文字数が多く、何を問われているのか、根気強く読み進める力が必要です。(裏面に数学で全国平均よりも低かった数学の問題を掲載します。)

これらの力をつけるためには、授業だけでなく、普段から5W1H【Who(だれが)、When(いつ) Where(どこで)、What(なにを)、Why(なぜ)、How(どのように)】が分かるように話しているかや、読書も大切になってきます。ご家庭でも少し意識して会話をしたり、一緒に本を読む時間を設けたりしていただければと思います。

なお、有田市全体の結果については有田市HPにて公表されていますので合わせてご覧ください。

- 3 次の図のような、中心角  $60^\circ$  のおうぎ形があります。このおうぎ形の弧の長さは、同じ半径の円の円周の長さの何倍ですか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。



- ア  $\frac{1}{2}$  倍    イ  $\frac{1}{3}$  倍    ウ  $\frac{1}{4}$  倍    エ  $\frac{1}{5}$  倍    オ  $\frac{1}{6}$  倍

《正解と誤答例は次号に掲載します。》